令和 2年度 行政評価事業別シート

		実計対象		評価対象	₹ ■	新規		完了事業		ゼロ予算事業		担当者	山岸和幸
		全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3326
事務事業名		4097	老人	福祉セン	ター管	理事業							
所	属	100300	健康	福祉部・	高齢者	福祉課							
施	策	01020400 高齢者福祉の充実											
~ #	会計	01	一般	会計									
予算	科目	030109	民生	費・社会	福祉費	・老人福	祉セ	ンター費					
科目	事業	010000	老人	福祉セン	ター管	理事業							
事業	目的							事	業概	要・効果			
ā		业センター	-を活	用して、	高齢者	の教養の	向上	,	老人福祉センターくつろぎ荘を指定管理者に委託し、				
l	ンクリ :	エーション	/等に	より心身	の健康	増進を図	る。		施設の適正管理運営を行う。				

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須坂市社会	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須坂市社会
福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生き	福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生き
がいや憩いの場を提供した。	がいや憩いの場を提供した。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂
市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者	市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者
の生きがいや憩いの場を提供した。	の生きがいや憩いの場を提供した。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を引続き須坂
市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者	市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者
の生きがいや憩いの場を提供した。	の生きがいや憩いの場を提供する。

指	標名	老人福祉	业センター年間利用者	黄数							
算	式	単位 人									
年	度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2	年度			
В	標値	目標			51, 290	51, 800		52, 300			
	1示 1世	実 績	50, 280	49, 936	51, 686	52, 735					
	標選定	利用者数での評価が適当なため									
	理由										
	終年度	第八次須坂市須坂市老人福祉計画(平成30~32年度)									
	の根拠										
	標名										
算	式	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
年	度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2	年度			
日	標値	目標									
		実 績									
	標選定										
	理由										
	終年度										
	の根拠										
	標名						34 /L				
算 年	<u>式</u> 度		亚代00左连	亚代00左连	亚芹20左连	亚弗尔左弗	単位	左曲			
<u> </u>	-	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2	平			
目	標値	実績									
† ⊑-1	標選定	天 視									
	^{院选化} 理 由										
	<u> </u>										
	ド年度 『の根拠										
日伢	・レノ作及が										

事業費 (単位:千円)

7-71434			(
		平成31年度	令和 2年度
		決 算	予算
事業費		30, 802	30, 939
	国庫支出金	0	0
特定	都道府県支出金	0	0
財源	地方債	300	0
	その他	27	38
一般財源		30, 475	30, 901
人員数	正規職員	0. 1	0. 1
(人)	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	正規職員	726. 5	726. 5
人員	嘱託職員	0.0	0.0
コスト	臨時職員	0.0	0.0
	計	726. 5	726. 5
市民一人当たりの経費		0.6	0. 6
総額		31, 528. 5	31, 665. 5

(単位:千円)

平成31年度決算 事業費の内訳						
主な節	金額	内容				
8節 報償費	0					
11節 需用費	729	修繕料				
13節 委託費	29, 686	老人福祉センターくつろぎ荘指定管理者委託料				
15節 工事請負費	387	老人福祉センターくつろぎ荘工事				
19節 負担金補助及び交付金	0					
その他	0					

(単位:千円)

		和 2年度当初予算 事業費の内訳					
主な節	金額	内容					
7節 報償費	0						
10節 需用費	820	修繕料					
12節 委託費	30, 119	老人福祉センターくつろぎ荘指定管理者委託料					
14節 工事請負費	0						
18節 負担金補助及び交付金	0						
その他	0						

CHECK

CHECK	個別評価	
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか・行政内部の管理運営上必要な事業であるか・市が主体となり実施すべき事業か・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか・目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか	高い
評 価 コメント	・高齢者の教養の向上、心身の健康増進を図る。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価	・教養の向上や心身の健康増進を進めることにより、高齢者の介護予防につながる	0
コメント		
効 率 性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか・効率性向上に努めているか・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評 価コメント	・施設の老朽化が進んでおり、修繕費用が増加する見込み。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

- ・老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須坂市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、施設の適正管理運営を行った。
- ・施設の老朽化が進み、今後、修繕費用が増加する見込みであるため計画的な修繕が必要である。

内部評価【二次】 4頁

ACTION

1次評価 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続		
総合評価コメント		2次評価コメント			
高齢者の生きがい。 要な施策である。	対策や福祉の増進を図る場として必		所有する"くつろぎ荘"の老朽化は なるが、高齢者の生きがい施策と 必要がある		

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	